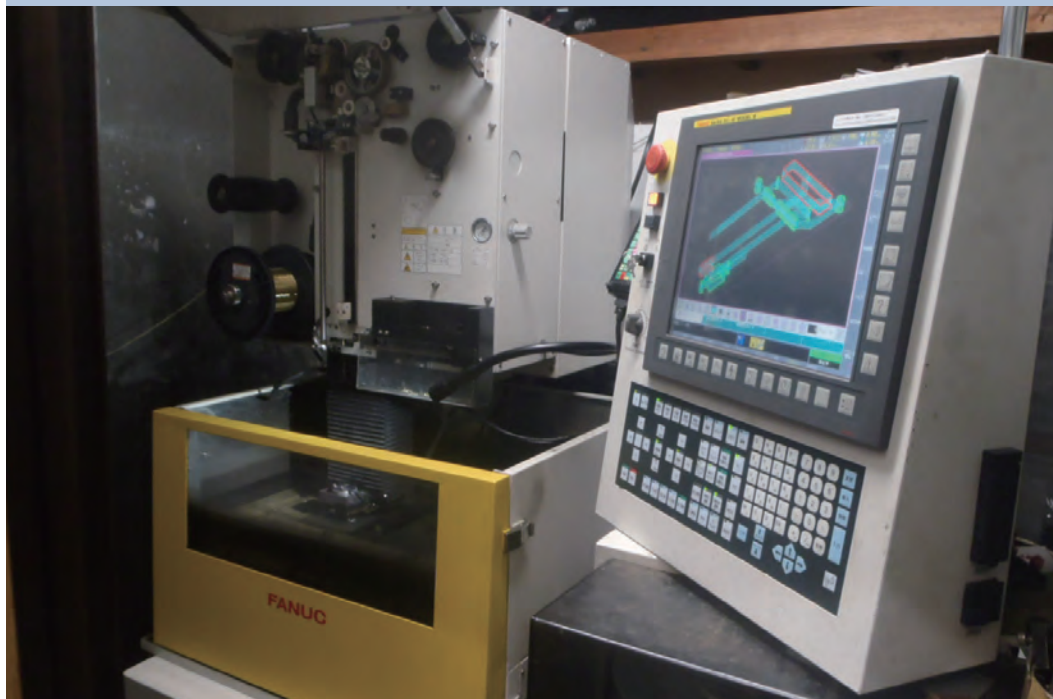


一貫した技術力で信頼の仕事 人が集まる企業に

- 納期相談
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産対応



ワイヤカット放電加工機

業務内容 自社開発のQDC金型治具で 小ロット・多品種に対応

自社開発のQDC（クイック・ダイ・チェンジ）プレス金型治具を活用し、プレス加工・金型メーカーとして電子機器、映像機器用の部品や、弱電精密機器に使用される端子、コネクタ、板バネ、各種試作部品などを手がける。QDC金型治具はワンタッチで着脱が可能なため金型の交換時間が大幅に短縮され、熟練技術者の腕に頼らず少量かつ多品種の生産も可能にした。

社内で金型の設計・製作からプレス加工まで一貫して行い、顧客のニーズごとに低コストで対応できる。品質を保持するためサブガイドを使用し、間隔の少ない薄物加工（±0.05mm）にも対応している。

強み 市場の変化に迅速に対応 さらなる発展を目指す

従来のプレス加工に比べ効率の良いQDC生産システムに適合する専用金型が生産可能であるため、自社生産のプレス製品のみならず、このシステムを同業の大手メーカーにも提案し、適合金型の販路拡大を可能にしている。

大量生産型で海外に生産が流出し国内での需要が減少する中、未だ海外生産が難しい少量多品種の生産や電子部品、リチウム電池、最先端電子機器向けの需要は多い。これらの需要に高精度加工や短納期で対応でき、非熟練工でも対応可能な体制を確立している。市場の変化にフレキシブルに対応しており、プレス加工業として生き残り、今後もさらなる発展が期待される。

人材育成 従業員と地域共助を大切に 助け合える人間関係を構築

従業員は家族のようなもの。離職率は低い。親から相談を受けて雇用した若者や時間に制約のある主婦などを積極採用する。仕事だけでなく

人生相談にも耳を傾け、子どもの行事に合わせ休暇を取れるなど、社長自ら働きやすい職場環境作りにつとめている。

地域共助も大切な会社の役割と位置づける。地域の子どもが気軽に工場に遊びに来たり、知人がゲートボールの道具が壊れたときに修理に持ってきたりと、町内での付き合いも大切にす。普段から友好な関係を作っておくことで、何かあったときにお互いが助け合える人間関係を自然と構築している。

今後の展望 技術の伝承が課題 他社の事業参入を積極サポート

金属プレス加工の同業者が減少している。名だたる製造業が日本国内にあるのに、海外生産に依存し国内で技術の伝承ができないのはもったいないと考え、対外的に機械の貸出しやノウハウの教授などを行っている。銅版の加工を手がけるある企業から金属プレス事業に参入したいとの相談を受け、同社開発のQDCプレス金型治具を貸し出して1日講習するなど、プレス事業参入の技能伝承は2社ほど実績がある。今後も顧客へのアドバイスを惜しまない。

また、人材も大切にしたいと考える。今後も接客や人との関わりが得意でない若者なども積極的に採用する。人それぞれに活躍できる場所は違うが、手先が器用で素直な若者が活躍できる場を提供していく考えだ。



精密機器用
部品の一例



映像機器用
部品の一例

当社の歴史



昭和52年に事業を承継し、「板金のコンビニ」をモットーに主に家電メーカーや通信機器メーカー向けに部品の生産や金属プレス加工を担っています。昭和57年にはQDC（クイック・ダイ・チェンジ）金型の生産をはじめ他品種・小ロットの受注が可能になり、その後も最新の機器を積極的に導入、次世代への技術の伝承が可能になりました。若者や女性も技術者として積極採用し、人材教育にも力を入れています。

代表取締役 尾北 正明さん

<http://www.kawachi-s.com/>

主な事業内容

弱電部品、端子などのプレス加工、およびプレス金型設計・製作

主な取引先(納入先)

パナソニック(株)、
アイコム(株)

- 住 所 〒572-0053
寝屋川市
中神田町16-2
- T E L 072-827-1359
- F A X 072-827-6611
- 創 業 昭和52年9月
- 設 立 昭和52年9月
- 資本金 1,000万円
- 従業員 15名

大阪
28